

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	・放課後デイつばさ 駒形		
○保護者評価実施期間	2025年2月7日		～ 2025年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2025年2月7日		～ 2025年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月18日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・こどものことを理解しこどもと保護者のニーズや課題を踏まえて柔軟に対応できるように個別支援計画を作成している。	・担当者会議の内容を含め各担当を中心に全スタッフの情報をもとに支援会議を行い支援を検討し、個別支援計画を作成している。 ・保護者から要望があった時にすぐ対応できるように計画を作成している。	・さまざまな分野の視点から意見をだしあいこどもにあったより良い支援方法を検討していけるようにしていく。 ・より柔軟に対応できるように知識を身に付けていく。
2	・こどもが自己選択できるような支援の工夫、自己決定する力を育てられるように支援を行っている。	・なるべく自己選択できるように見守り、声掛けをしている。 ・スタッフによる決定は必要最低限にしている。	・自己選択する機会を増やしたり、状況に応じてフォローを行い自己決定する力を育てていけるようにする。
3	・事業所の活動プログラム固定化されないように工夫している。	・月に1回中間ミーティングを行い、固定化しないように工夫している。また、目的を決め立案したり、その時の状況で内容の変更を行っている。	・こどもたちがより興味をもったり、楽しめるようこどもに意見などを聞いて反映できるものは取り入れていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動、保護者同士の交流の機会が設けられていない。	・保護者を招くイベントや保護者会などの計画を検討したことはあったがコロナや感染症などがあり実施に至らなかった。 ・時間帯的に平日の実施は難しい。	・2025年度は保護者にアンケートを配布し保護者会実施予定。日にちは早めにお知らせし長期休み中に行う。 ・保護者同士のコミュニケーション等が図れるように配慮していく。
2	・事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図れていない。	・ハロウィンイベントでは地域の方が仮装を楽しみにしてくれているがそれ以外の交流はほとんどできていない。 ・交流を図ろうとしているがなかなかタイミング等が難しい。	・時間やタイミング等検討しながら地域の方と交流できる機会を図っていく。また、継続してホームページなどを通して情報を発信していく。
3	・就業前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との情報共有は少ないと感じる。	・新1年生で利用する際に保護者の方から様子を伺うことはできるが、就業前に利用していた場所から聞き取る機会が少ないと思う。	・今後は状況に応じて就業前に利用していた様子などを伺い情報を共有し、支援に生かせるようにしていく。